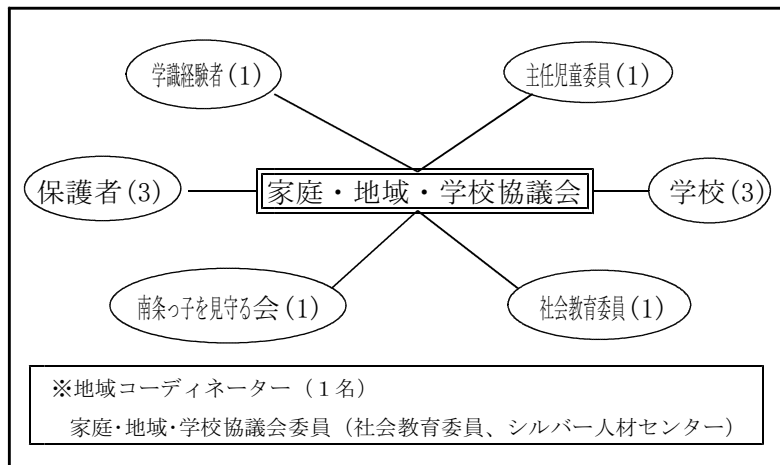


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

* () は人数



(2) 協議会の内容

- 開催日程と協議内容
- ・ 第1回(6月) …学校教育目標やスクールプラン、本年度の重点目標等についての説明を行う。
- ・ 第2回(11月) …小中学校合同で取り組んでいる項目について児童の状況と対策を話し合う。
- ・ 第3回(3月) …児童や保護者のアンケート結果をもとに、学校の取組みについて外部評価を行い、次年度の運営に繋げる。

(3) 協議会における成果と課題

児童の様子や指導上の課題などを情報共有し、意見交換することができた。また、家庭、地域、学校が連携協力し、地域住民が参画する学校支援体制について協議がなされた。図書を読み聞かせボランティアや体験活動等で進められてきている教育支援活動が、今後、多様な広がりや発展につながると良い。

3 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童が学ぶ場面において、実物を見たり、実際に触れたり、専門家に話を聞いたりすることによって、児童たちはより多くのことを学び、達成感を得るのではないかと考える。本校における教育活動の重点項目として、次のことを挙げている。

- ①健康教育・食育の推進
- ②家庭・地域・関係機関との連携

これらのことを関連づけ、具体的な取組として総合的な学習の時間などで、地域を教材として捉えたり人材を招聘したりすることで、ふるさとを愛する心や感謝する心を育てる。

(2) 活動の実例

6年生は、総合的な学習の時間と関連させて、こども園や公民館、図書館などを訪問し、交流活動を行っている。こども園では、園児と一緒にゲームをして遊んだり、給食の配膳のお手伝いをしたりして楽しく交流することができた。公民館、図書館では清掃活動を行った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ①地域人材活用：読み聞かせボランティア、外部指導者による授業の支援等
- ②地域交流：幼児や高齢者との交流、地区文化祭への参加、作品展示等
- ③家庭教育：インターネット関連の講演会の開催
- ④学校関係者評価：学校の教育活動について家庭・地域・学校協議会で評価・検討

(4) 工夫・配慮事項

- ・ 学校行事等を参観してもらい、児童の実態・学校の取組について理解してもらう。
- ・ PTA発行の広報紙を全戸で回覧し、学校の様子を地域に伝える。
- ・ 学校だよりを発行し、学校の様子を各家庭に伝える。

(5) 成果と課題

児童たちにとって、自分たちの生活がいろいろな人たちの支えによって成り立っていることを再認識することができ、地域の一員として地域のために行動することの大切さを学ぶ機会となった。また、地域にある施設や風土などについて新たな発見があり、ふるさとを愛する心を醸成することができた。